

心臓リハビリで早期の在宅復帰を支援

社会医療法人医翔会 札幌白石記念病院

札幌市白石区本通8丁目南1-10

TEL 011-8300-5151 <https://www.ssh-hp.jp/>

伊達歩 医師



だて・あゆみ / 2005年旭川医科大学医学部卒業。旭川医科大学、国立循環器病研究センターなどを経て、25年4月札幌白石記念病院に着任。日本内科学会認定総合内科専門医、日本循環器学会認定循環器専門医。その他、心臓リハビリ関連の資格も保有。

その1人だ。

「患者さんの病態に合わせて、リハビリプログラムの策定や栄養・生活指導など、スムーズに在宅移行ができるように多職種でサポートしています」

心疾患患者には「運動耐容能（体力や持久力）」が生命予後に関連しているため、適切な運動負荷と運動量を見極めるため「心肺運動負荷試験（CPX）」を実施している。

「自分がどの程度動いて良いかわからないという人は多い。まずはCPXで現状を把握しています」

また、経過観察の判断材料には、運動中の心拍数やバイタルサインを確認。良質な場合は運動強度を上げて、回復を目指していく。

同院では伊達医師の着任に伴い、外来の心臓リハビリを月々金曜に拡充した。

心肺運動負荷試験（CPX）を実施



かつて心疾患は安静第一が定説であり、患者の社会復帰が遅れがちだった。しかし、医療の進歩でリハビリの必要性が唱えられ、近年は「心臓リハビリテーション」に注力する医師が増えている。

今年4月に「札幌白石記念病院」に着任した心臓リハビリテーション指導士の伊達歩医師も